

回 覧

令和 8 年 6 月 5 日に開催した市之倉地域地区懇談会の要旨を 地域の皆さまにお知らせします

1 テーマ 令和 8 年度主要事業について

2 おもな意見

①(事前質問)自治会の加入率が年々低下しています。今後の対策と対応について行政の考え方を教えてください。

回答(くらし人権課)

自治会は、地域の防災・防犯・環境美化、住みよいまちづくりのために、大事な存在であると考えています。市として、区長会と意見交換などを行い自治会存続に取り組んでいます。

役員の負担軽減、自治会運営に関する相談窓口の設置、自治会活動ガイドブックの作成、自治会加入促進チラシを作成し、不動産業者等を通じて配布しています。

また、市独自の取り組みとして、移住・定住、新婚世帯に対する補助金・支援金の受給要件に、自治組織への加入を条件とし、加入を積極的に推進しています。

②(事前質問)特定外来種オオキンケイギクの処理方法について周知徹底のために事業者や団体にホームページ上などで呼びかけをしてください。

回答(環境課)

特定外来生物対策について、適切な処理方法の周知に努めており、市のホームページや広報 5 月号で「特定外来生物（植物）を発見された際には、根から慎重に引き抜き、種子が飛散しないようにその場でビニール袋に密閉し、燃やすごみとして処分ください。」と案内しております。草刈り作業等を行う委託業者や団体に対して、周知徹底に努めてまいります。

③(事前質問)町内会を辞める高齢者が増えています。やめることによってどんな問題がでていますか。

回答(くらし人権課)

町内会を抜けると、市の広報紙や地域のイベント情報などが直接配られなくなることや自治会の運営の中で行われている催しへの参加機会が減少することなどにより地域とのつながりが希薄になり、いざという時に共助が難しくなると考えます。

④(事前質問) どの地区にも当てはまる老人向けのプログラムはよく目にしますが、地区の特色を生かした福祉活動プログラムを提案していただきたいです。

回答(高齢福祉課)

高齢者向けのプログラムとしては、地域包括支援センター、公民館、地域福祉協議会等が連携して、地域の方に向けた講座やサロン、イベント等を実施しています。市之倉は地域福祉協議会で、地域の方が主体となり、地域に合わせた事業を計画、実施されています。ぜひご参加ください。

⑤(事前質問) 愛岐道路の復旧について現時点で市が把握している状況や、県など関係機関に対してどのような情報提供を求めているのか、また今後どの段階で市民に見通しを示せるようになるのか教えてください。

回答(道路河川課)

復旧までの見通しについては、現時点では未定と県から聞いております。事業費の確保など、順調に進めば、今年の夏頃に復旧工事の発注へ進めたいとのことです。現在、県とは随時情報共有を行っておりますので、今後、工事発注の時期などが具体化し、県から情報提供を受けた段階で速やかに周知します。

補足：愛岐道路については、県からの情報提供を受け、7月17日に「今年7月に工事着工し、令和10年3月末工事完了の予定」という見込みを公表しました。

⑥(事前質問) 愛岐道路の通行止めにより、消防・救急などの緊急車両の到着時間はどの程度変化していますか。またごみ収集車など市の業務や民間事業者への影響や経済的損失を把握していますか。

回答(道路河川課)

緊急車両の運用について現時点では、他の主要道路を活用しており、現地到着時間に大きな支障は生じていません。具体的な経済的損失額については、定量的な把握はしていませんが、今後も影響の把握に努め、復旧工事の早期実施等、県や国への要望を行う際の参考とし活用していきます。

⑦(事前質問) 市之倉町13の交差点について通行止めが長期化するのであれば、点滅信号や押しボタン式、または信号サイクルの見直しなどを市として関係機関に相談・要望していただけないでしょうか。

回答(道路河川課)

市のごみ処理施設やし尿処理施設への搬入のため、市之倉町13丁目交差点から多治見方面へ月見橋を渡らざるを得ない車両があります。このため、通行車両の安全確保の観点から、現在、信号機は点滅運用とせず、通常どおり運用しています。ご指摘につきましては、道路管理者の県と情報共有するとともに、規制管理者の警察へお伝えします。

⑧ 愛岐道路は崩落した場所以外にも危険な箇所があります。事故を受け、道路の再開を諦め市之倉バイパスを赤松まで伸ばす工事をやっていただければと思います。

回答(市長)

今回の事故は雨や地震などで起こったわけでないため、国から災害復旧費が下りてきません。管理者である岐阜県の単体予算で工事をするのが難しいため、市民を代表して防災減災推進費の補助金を取るため要望活動を進めております。夏頃に工事の目途を示すことができるよう引き続き県と話しを進めていきます。

⑨ 愛岐道路の迂回路について平日の通勤時間と土日の県外ナンバーの車の速度が速いように感じます。小中学生の通学路にもなっているため市から警察へパトロールの要請をしていただけませんか。

回答(建設水道部長)

所管課で現場を確認した上で警察へも情報を共有し、現場を確認していただいた上で対策を検討させていただきます。

⑩ 市内の学校間で子どもたちの交流連携は実施していますか。他校区の子どもにも市之倉の自然を味わっていただきたいです。

回答(教育長)

学校間の交流は現在実施しております。市之倉には国土交通省と協力して整備した遊歩道や保育園の裏山など素敵な場所があるので、今後他校区の学校にもPRしていきます。

⑪ 市内の学校では教員の配置について教員の希望や地域からの要望を聞いてもらえますか。

回答(教育長)

教員の異動希望は各学校で校長による聞き取りを実施しています。ただし教員の人事権は県にあるため、必ずしも希望どおりになるとは限りません。

⑫ 中京学院大学の多治見市への移転を踏まえ、滝呂球場と向島球場の整備が予算に上がっています。硬式野球部が使う滝呂球場に比べて、軟式野球部が使う向島球場は狭いです。中京学院大学軟式野球部のレベルを検証した上で改修計画を作成されていますか。

回答(企画部長)

軟式野球部は全国区でも強いチームですが、野球部の監督と面談した上でグラウンドの大きさに合わせた練習メニューを組むと聞いています。今後も大学側と協議を進めていきます。

⑬ 最近は明るい時間にイノシシが出没しています。

回答(経済部長)

イノシシが出る場所を確認した上で担当部署の職員が現地を確認します。

⑭ バスチケットの配布が行われていますが、バス停まで遠く不便です。週に1度でもいいので循環バスを走らせていただけませんか。

回答(都市計画部長)

市之倉は路線バス、よぶくるバス、あいのりタクシーが走っています。都市政策課でバスの活用方法などサポートしていますので一度ご相談していただきバスを活用いただければと思います。

⑮ 市内で熊が出る可能性はありますか？

回答(経済部長)

過去に熊らしきものを見た通報は何度かありましたが、現地を確認して熊と断定された例はありません。近隣の土岐市や瀬戸市では確認されているためご注意ください。